

会 議 録

1 会議名

令和6年度第8回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 諮問事項 (公開)

・柿崎区における公立4保育園の統合及び移転整備について (諮問)

(2) 自主的な審議 (公開)

・まちづくりフォーラムの内容について

・柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について

(3) 報告事項 (公開)

・日帰り・宿泊温浴施設の無償譲渡・無償貸付に係る公募型プロポーザルの実施結果について

(4) その他 (公開)

3 開催日時

令和6年12月17日(火) 午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

・委員：吉井一寛(会長)、中村誠(副会長)、金子豊彦、小出祥世、小関信夫、坂木朋子、佐藤達弥、佐藤昌貴、佐藤まゆみ、滝澤正芳、蓑輪和彦、山川昌恵

・幼児保育課：黒津課長、伊倉副課長、徳永係長、安田主任

・事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、石澤次長、

五十嵐産業グループ長、石川市民生活・福祉グループ長、
小林教育・文化グループ長、長井地域振興班長、大場副主幹

8 発言の内容（要旨）

【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に佐藤昌貴委員を指名。
- ・次第 4 の諮問事項に入る。(1)柿崎区における公立 4 保育園の統合及び移転整備についての諮問を受ける。幼児保育課から説明をお願いする。

【黒津課長】

- ・柿崎区における公立 4 保育園の統合及び移転整備については、柿崎区地域協議会の自主的審議事項として、平成 26 年度から検討を重ねてこられ、昨年 3 月に「柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書」を市へご提出いただいた。これまでの間、委員の皆様からご協議、ご尽力をいただく中で、一定の方向性を導いていただいたことに、この場を借りて深く感謝を申し上げる。

【徳永係長】

- ・諮問内容の説明に先立ち、新保育園の整備に向けたこれまでの経過と今後の予定に関する概要を説明する。市では、柿崎区地域協議会からご提出いただいた意見書の趣旨等を踏まえて、本年 2 月に策定した「上越市保育園の適正配置等に係る第 4 期計画」に基づき、昨今における児童数の減少と区内の施設の老朽化などの課題を解消し、児童の適正な集団生活の場の確保、そして良好な保育環境を提供するため、柿崎区内における公立の 4 保育園を統合し、新たな保育園を移転整備するという方針を決定した。
- ・また、建設候補地の選定に当たっては、これまでの間、災害に対する安全性、

交通アクセスなどを十分に考慮した上で、柿崎体育館の跡地を建設候補地に選定し、保護者や地域の皆様との意見交換会を実施してきた。本年5月には、保護者を対象に意向調査を実施し、当該候補地の賛否を確認したところ、大勢の賛同を得たことから柿崎体育館跡地を建設候補地に決定した。

- ・新保育園の整備については、柿崎体育館の除却や用地造成などを含め、事業着手から開園まで概ね4年から5年程度の期間を要するものと見込んでいる。本年度は、新保育園の工事の施工に当たって、設計業務等の基礎資料とするため、本年6月下旬から11月上旬にかけて柿崎体育館周辺の現況測量と地質調査を実施した。その結果、新保育園の設計、施工に必要な詳細な情報を把握するとともに、新保育園の整備に支障がないことが確認できた。なお、来年度以降、園舎の具体的なデザイン、園庭と駐車場のレイアウトの検討と併せて詳細な整備スケジュールを策定する。その具体的な検討に際しては、日頃から保育業務に深く携わっている現場のスタッフをはじめ、保護者、地域の皆様の意見を参考にしながら進めていきたいと考えている。
- ・以上の説明を踏まえて、この度の諮問は、柿崎区内の公立4保育園を統合し新たな保育園を移転整備することに関し、柿崎区の住民の生活に及ぼす影響という観点から皆様にご意見を伺うものである。
- ・諮問書の写しの表紙に記載がある諮問事項、その理由は、今ほど申し上げたとおりである。諮問の内容は別紙に記載のとおり、表中の左側が既存の区内4保育園の現況、右側が統合移転整備後の新保育園の内容である。新保育園の名称は仮称となっているが、今後、保護者や地域の皆様のご意見なども踏まえ、市として決定していきたいと考えている。また、新保育園の定員についても未定であるが、将来的な入園児童数の動向見込みなどを十分に踏まえた上で、適正な定員規模を検討していく。
- ・参考資料1は、既存の区内4保育園の概要をまとめたものである。新保育園の概要は、現時点で掲載はしていないが、今後、保護者や地域の皆様のご意見を踏まえた上で、設計業務などを通じて、その詳細を検討し決定していく。参考資料2は、既存の区内4保育園と新保育園の位置図であり、参考にさせていただきたい。

【黒津課長】

- ・本日の諮問は、新たな保育園を設置する上で、その構想の段階における諮問に位置付けていることから、現時点で未定となっている新保育園の概要等が確定した段階で、改めて新保育園の設置と既存保育園の廃止に関する内容を皆様にお諮りする。
- ・引き続き子どもたちの目線を大切にして、さらに保護者や地域の皆様のご意見を丁寧にお聞きしながら、長く地域に愛される保育園の整備を着実に進めていきたいと考えている。本日は、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。

【小出委員】

- ・今ほど、「調査を行い問題がなかった」と説明されたが、何を調査されて問題がなかったのかが分からなかった。例えば、「今までこういうことが問題だと思われていたが、調査によって、そういう心配がなくなった」とか、「今後、こういう対応ができる」とか、そういう説明があると理解が深まる。
- ・柿崎体育館は避難所としての利用をはじめ、これまで地域のさまざまな活動に使われてきたので、例えば保育園の敷地を活用して公民館的な施設を建てること、今後の検討の中で可能かどうかをお聞きする。

【黒津課長】

- ・今ほどの説明の中で全く問題がないと言ったのは、ボーリング調査の結果であることをご理解いただきたい。
- ・今回実施した調査は、ご指摘があった課題の整理とは別のことである。これまで保護者や地域の皆様から多くの課題や心配点をご意見としていただいたが、それらの課題等は、今後も話し合いや協議を重ね、一つ一つ解消していきたいと思っている。

【徳永係長】

- ・ご説明した調査とは、建設候補地の柿崎体育館周辺における地質調査のことであり、敷地が保育園の構造に耐える強さを有しているかどうかを調査した。その結果、保育園建設に十分な強さであることが分かった。
- ・交通量や周辺における環境の影響など、さまざまな課題があることは、私どもも十分承知しているので、引き続き検討の上、必要に応じて調査も実施してい

く。また、皆様にその結果等をご説明する機会を設けたいと思っている。

【新部所長】

- ・新保育園建設に伴う課題は、柿崎体育館が「上越市公の施設の適正配置計画」の中で廃止の方向で決定していたので、その代替機能をどうするかということだった。例えば、桃園町内会がこれまで柿崎体育館を町内会館として使用してきたことから、桃園町内会と代替機能の話し合いを進めてきた。その結果、桃園町内会が保育園建設後の余剰スペースに町内会館を建設することで合意を得た。それ以外の課題については、今後、新保育園建設に向けて一つずつ協議していく。

【小出委員】

- ・保育園機能を確保した後に、柿崎体育館跡地に余剰スペースがあった場合、他の計画についても受け入れてもらえる可能性はあるか。

【新部所長】

- ・どのくらいのスペースが余るかは全くの白紙状態であり、例えば避難所機能であるとか、体育館が有していた地域の機能をどうしていくかは、今後、地元の皆様と協議、検討を進めていくということでご理解いただきたい。

【吉井会長】

- ・今後のスケジュールは、いつごろ示されるのか。

【黒津課長】

- ・大まかなスケジュールとなるが、仮に令和 10 年の開園を目指すとした場合、今年度実施したボーリング調査等の結果、土地が地形・地質的に問題がないことが分かったので、来年度は園庭や園舎の広さはどれくらい必要か、駐車場のスペースをどうするか、さらにそれらをどのようにレイアウトするかなどを検討する。そして、令和 8 年度、9 年度で、体育館の除却と園舎の建設を行う予定である。

【徳永係長】

- ・来年度に詳細な設計を行うので、その段階で開園時期がはっきりする。令和 10 年 4 月というのはあくまで目標、目安として考えているとご理解いただきたい。

【山川委員】

- ・現在、新保育園の定員等が未定となっているが、来年度の設計段階で定員や保

育内容が示されるのか。

【黒津課長】

- ・定員数によって園の規模が決まるので、園児の減少状況や入園率、周辺地域の人口動態などの社会状況を見据えながら、概ねの定員を設定した上で詳細な設計に入る。どのような園の内容にするかは関係者、保育士、子どもたちの意見を聞きながら、設計に反映させていきたいと考えている。

【吉井会長】

- ・他の委員の皆さんから意見、質問はないか。
(意見、質問なし)
- ・それでは、諮問事項の説明、質疑を終了する。
(幼児保育課職員退席)
- ・今回は、あくまでも区内の4保育園を統合して柿崎体育館跡地に新保育園を建設することの諮問である。園舎の大きさやレイアウト、園庭や駐車場、保育内容などの多くの検討事項は今後の協議となる。
- ・来月の地域協議会で答申を行う。地域協議会が市へ意見書を提出し、これまで幼児保育課が保育園の統合、整備に向けて取り組み、地域協議会が随時チェックしてきたので、諮問に対しては了解する旨の内容で答申を行いたいと考えている。委員の皆さんから意見はないか。
(なし)
- ・答申案は、事務局と私で相談して作成し、来月の地域協議会において皆さんにお示しする。皆さんの了解が得られたら、その内容で答申したいと考えている。
よろしいか。
(「はい」の声)
- ・以上で、諮問事項については終了する。
- ・次に、次第5の自主的な審議(1)まちづくりフォーラムの内容について、山川実行委員長に説明をお願いします。

【山川委員】

- ・資料1により、まちづくりフォーラムの内容、周知方法、資料の作成、役割分担等を説明する。
- ・まちづくりフォーラムの開催を周知するためチラシを作成した。皆さんのお手

元に2種類のチラシをお配りしたので、意見や文言の修正等があったら12月24日(火)までに事務局へ連絡してほしい。また、周知方法の詳細は、次回の実行委員会で検討するので、チラシの配付先等でお考えがあったらご提案いただきたい。

- ・各委員会の報告はプロジェクターを使用するので、委員長はパワーポイントで資料の作成をお願いします。作成期限等の詳細は改めて連絡する。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。

【佐藤(昌)委員】

- ・各委員会の報告用資料は様式が決まっているのか。また、報告はプロジェクターを使わなくてもよいのか。

【山川委員】

- ・各委員会の報告は、プロジェクターを使い行っていただきたい。説明時間が10分と短いので、作成枚数を考慮してほしい。

【吉井会長】

- ・他に意見、質問がないため、まちづくりフォーラムの内容についての協議を終了する。
- ・次に、(2)柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について協議する。中村副会長に米山薬師を守る会の取組状況の報告をお願いします。

【中村副会長】

- ・資料2により、柿崎山岳会会長との懇談結果を報告する。
- ・柿崎山岳会解散後の米山登山道等の維持管理は、ボランティアを募集して実施する場合、無償では集まらないことから有償ボランティアの募集や、新たに「米山ファンクラブ」のような団体を立ち上げて、登山道の整備等に参加する意思のある人からファンクラブに登録してもらい、参加者を募る方法などの発言があった。いずれにしても中心となる人が必要であり、その確保が難しいと考える。今後、懇談会の内容を整理して対応策を検討していく。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。

【坂木委員】

- ・資料にも記載があるように、現在、各委員会がそれぞれ協議を進めているが、3つの委員会が協力、連携していくことが必要だと考える。

【吉井会長】

- ・他の委員会の委員長には、柿崎山岳会解散後の対応策に関して意見があったら議論に加わってほしい。
- ・それでは、他に意見、質問がないため、米山薬師を守る会からの報告を終了し、佐藤昌貴委員長からスポ×まちプロジェクトの取組状況の報告をお願いする。

【佐藤（昌）委員】

- ・資料3により、区内のスポーツ施設の視察結果を報告する。
- ・施設の視察を通じて思ったことは使用料が安く、維持管理や更新のことを念頭に入れて使用料を設定しているかどうか疑問に思った。見直しの検討が必要だと感じた。
- ・どの施設も機能面の充実ぶりに驚いたが、より多くの人に使ってもらうためにはPR方法を工夫するとともに、施設予約の検索性を高めていかなければならない。また、かきざきドームを軸としたホスピタリティが低いことや施設の周りに何もなく、「かきざきドームへ行けば何かある」と思ってもらえるような施設にしていくことが利用者増につながるという意見があった。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。

【小関委員】

- ・視察を通じて、これらの施設を維持していくことが大変だと率直に感じた。

【坂木委員】

- ・かきざきドームの多目的フィールドは冬場のスポーツの練習の場に、屋内水泳プールはさまざまな教室に利用できればよいと思うが、それにはインスタグラム等を利用した発信が必要だと思う。

【滝澤委員】

- ・かきざきドームの周辺には何もなく、食事をすることも飲み物を買うこともできない。利用した人が、ここを選んでよかったと思えるような仕組み、環境づくりが必要だと思った。

【山川委員】

- ・区内のスポーツ施設を見学して、改めて立派な施設だと感じた。かきぎきドームと柿崎第1庭球コートから米山が見える。ロケーションも含めてのスポーツ施設という思いがあるので、その思いを大切に今後考えていきたい。

【佐藤（ま）委員】

- ・かきぎきドームを使用した人は、使いやすい施設だと実感し多くの人に使ってほしいと思っている。施設の魅力を発信できればよいと感じた。

【吉井会長】

- ・他に意見、質問がないため自主的な審議の協議を終了する。
- ・次に、次第6の報告事項(1)日帰り・宿泊温浴施設の無償譲渡・無償貸付に係る公募型プロポーザルの実施計画について、事務局から説明をお願いします。

【五十嵐グループ長】

- ・上越市議会に報告した資料の写しにより説明する。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから、意見、質問はないか。
(意見、質問なし)
- ・それでは、意見、質問がないため報告事項を終了する。
- ・次に、次第7のその他(1)会議の開催日程について、事務局から報告をお願いします。

【長井班長】

- ・次の会議の開催日程を説明する。
 - (1) 第3回ネットワーク柿崎
 - (2) 第9回柿崎区地域協議会
 - (3) 第6回柿崎区地域協議会だより編集委員会
 - (4) 第3回まちづくりフォーラム実行委員会

【吉井会長】

- ・次に配付物について、事務局から説明をお願いします。

【長井班長】

- ・次の配付物を説明する。
 - (1) 柿崎区地域協議会だより第55号

【吉井会長】

- ・その他で皆さんから何かないか。

(なし)

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後 7 時 50 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。